



CMS として使う WORDPRESS の  

Prime Strategy

現状のCMS動向

WordPress CMSのニーズは大企業から中小企業へと波及

- 「CMSを今後導入予定」と回答した企業は13.6%で前年度比で1.8%向上
- 従業員50人以上の企業で導入予定が10%以上、300人未満の中小企業では導入率7%以下

従業員数	導入している	今後導入予定
10～49人	6.1%	9.2%
50～99人	6.5%	17.4%

従業員数	導入している	今後導入予定
100～299人	6.8%	12.4%
300～99人	11.4%	16.1%

インターネット白書2008より引用

WordPress CMSの中では、ブログ系アプリケーションの利用率がダントツ

CMSの種類	2007年	2008年
Movable Type	21.7%	27.2%
インストール型Blog	19.3%	22.1%
ASP型Blog	13.9%	12.7%

CMSの種類	2007年	2008年
マイクロソフトCMS	11.7%	11.9%
オープンソースCMS	8.9%	11.1%

インターネット白書2008より引用



CMSの認知度が上がり、導入が大企業から中小企業へと拡大中。
コストが抑えられるブログ系CMSの採用がメイン

CMSとして見たWordPress の

タダより安いものはない。

- GPLライセンスで商用利用も可能

本体改変なしにカスタマイズ可能

- 充実したフックポイントにより、プラグインでかなりの挙動変更、機能追加が可能
- 頻繁なバージョンアップも問題なし。

初心者にも扱いやすい生PHP

- 通常のPHPであるため、構造が簡単でPHPを覚えてたてでも扱える。
- ※ ただし、テーマ内にロジックが混じってスパゲッティコードの原因にも。

ブログツール世界シェアNo.1

- 今後も安定した開発が期待できる。

Prime Strategy

CMSとして見たWordPress の X

X ブログとしての限界

- 更新時にプレビューできない
- 組織的な利用(承認フロー)が困難
- やっぱりメイン機能は投稿

X 不具合多し

- 管理画面はIEで不具合多し
- デフォルトでは、マルチバイトへの対応が貧弱
- 不十分なバグフィックスでの新バージョンリリース

X 動的ページ生成によるサーバへの負荷と表示遅延

- 静的HTMLとのレスポンス比較で10倍以上遅くなる
- 10,000記事くらいでカテゴリ表示が体感できるほど遅くなり始める。

Prime Strategy

WordPressの利用に適したサイトとは？

- ① 構築費用、ランニングコストにシビア
- ② 担当者が承認なしに公開できる運用体制
- ③ ページ数が100ページ以内の小規模サイト
※ 性能限界よりも実質的な管理機能の限界
- ④ 基本機能では満たせないカスタマイズが必須



現状、ニーズが高まっている中小企業向けCMSとして最適

WordPressを使ったCMSサイトの構成方法

🌐 ページ機能をベースとして構成

- 一般的なサイトでは、カテゴリ表示は不要
- ページの親子機能で階層を構築
- wp_list_pages+カスタムフィールドを使い、ナビゲーションの出力をコントロール

🌐 投稿機能は最新情報、カテゴリライズされる情報などに

- 一覧表示はカテゴリ表示で実装済み
- 複数カテゴリに所属可能であるため、ディレクトリ型検索が可能
- ページ機能との役割分担で、管理しやすい構成。

🌐 サイダーなどの共通要素は、ウィジェットor非公開ページで管理

Prime Strategy

CMSとして使う場合のテーマ

Classicテーマをベースにカスタマイズ

- 管理軽減のため、基本的に複数のテンプレートは使わずindex.phpのみ使用。
- Content部分のみ、対応するcontent部分のテンプレートを呼び出し
- CMSとして必要な基本機能をテーマのfunctions.phpに集約

Prime Strategy

CMSとして使う場合の標準的なプラグイン

 WP Multibyte Patch

 TinyMCE Advanced

 Revision Control

 Admin SSL

 Ultimate Google Analytics

 Google XML Sitemaps

 WP-PageNavi

 Breadcrumb NavXT

 PS Auto Sitemap

 PS Disable Auto Formatting

 WP-DBManager

Prime Strategy

CMSとして提供する場合に大事なこと

WordPress ユーザーに合わせた更新方法

- 静的サイトと違い、ツールとしてのユーザビリティが問われる
 - ビジュアルエディタで見えないdivタグ使用はレイアウト崩れの原因になるため利用は控える。(見た目重視のページは、事前に編集不可であることを告知)
 - YouTube、GoogleMapsなどはショートコードで投稿を容易に。
 - TinyMCE Advancedでstyle.cssをビジュアルエディタに反映させる。
CSSの記述ファイル、記述方法にも配慮する必要あり

WordPress 管理範囲の策定

- 編集可能領域の拡大はクオリティーとのトレードオフとなる
 - 公開後の運用を想定し、双方のバランスを取ることが肝要

Prime Strategy

WordPressを使ったサイト紹介

WordPress 新華通信ネットジャパン

<http://www.xinhua.jp/>



- 11万超の記事をWordPressで管理
- テーブル構造の改変とDBクエリーの変更で対応
- 会員管理は別OSが担当し、ログイン状態および会員種別をプラグインで共有
- アクセスランキング、広告管理はプラグインで実装

Prime Strategy

WordPressを使ったサイト紹介



ミヤザワホームズ

<http://www.miyazawahomes.co.jp/>



- 物件情報、施工事例は、投稿機能とカスタムフィールドを使い、定型的に表示
- サイドバーのバナーは、非公開記事を引用
- 各種ナビゲーションは、特定のカスタムフィールドを持つページを自動出力
- 新着情報は、リンク有、無、PDFファイルへのリンク外部サイトへのリンクをcontent内容、カスタムフィールドの入力によりコントロール

Prime Strategy

WordPressを使ったサイト紹介



シン×クロ

<http://www.sin-kuro.com/>



- サイドバーの動画、テキストはウィジェット管理
- Pick up、News、稽古場日記は投稿機能で管理
- YouTube動画をビジュアルエディタで掲載出来る様ショートコードを開発
- Ktai Styleにより携帯対応

Prime Strategy



ご静聴ありがとうございました。

Prime Strategy